

様式3

教員資格及び教育内容等の自己評価書

令和7年6月1日

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部 ・学科等 の名称	専任教員数								非常 勤教 員	専 任 教 員 一 人 あ た り の 在 籍 学 生 数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準 数	うち	助手			
							理 学 療 法 士 又 は 作 業 療 法 士 数				
保健衛生学 部学部リハ ビリテーシ ョン学科作 業療法学専 攻	2 人	4 人	0 人	2 人	8 人	6 人	7 人	0 人	17 人	15.1 人	
計	2 人	4 人	0 人	2 人	8 人	6 人	7 人	0 人	17 人	－	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3

	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

区 分			授 業 科目	担当 コマ 数	担当教員										
					氏名										職名 (専 任・兼 任・非 常 勤)
基礎分野	医療人底力教育	医療人の基礎知識	いのちの倫学	8	福田八寿絵	豊田長康	鎮西康雄	鈴木宏治							兼任
			医学の基礎入門	8	堤智齐	有馬寧	栃谷史郎	熊取厚志	赤塚結子	丸山一男	西田圭吾			兼任	
			医療・福祉の変遷と	8	河尻純平	小川眞里	及川伸二	松浦信	山路由実	藤原芳朗				兼任	

			制度			子			子					
			医 療 の 倫 理 学	8	福 田 八 寿 絵	中 井 桂 司	片 山 芳 彦	佐 々 木 良 元	渡 部 秀 樹	大 西 健 児				専 任・ 兼任
			臨 床 医 学 へ の 招 待	8	佐 々 木 良 元	東 川 正 宗	中 井 桂 司	大 西 健 児	畠 中 泰 彦	都 丸 敦 史	高 瀬 幸 次 郎			専 任・ 兼 任・ 非 常 勤
			人 々 の 生 活 と 医 療	8	村 田 真 理 子	平 工 雄 介	江 角 悠 太	今 井 寛	谷 口 清 州	中 川 大 河				兼 任・ 非 常 勤
		医療人の技能と資質	医 療 人 底 力 実 践 I (学 科 プ ロ グ ラム)	15	美 和 千 尋	島 崎 博 也	藤 井 啓 介	野 口 佑 太	石 川 真 太 郎					専任
			医 療 人 底 力 実 践 II (体 験 プ ロ グ ラム)	15	河 尻 純 平	山 下 剛 範	鈴 木 恵 子	松 廣 幹 雄	大 杉 領 子	金 山 和 樹	福 岡 恵 子	伊 藤 卓 也	齋 藤 恒 一	専 任・ 兼任
					多 田 智 美	藤 井 啓 介	山 本 泰 雄	濱 田 匠	上 原 俊 介	佐 脇 幸 恵	平 谷 智 生	瀧 本 未 来	宮 脇 太 朗	
					神 藏 貴	平 井 聡	大 無 田 孝 夫	中 村 太 郎	最 明 裕	梶 山 純	谷 口 公	石 嶋 康	黄 檠 達	

					久藤原朋也	子藤田快男		森本正大	山本篤司	介田中章太		伊藤佳祐	一山下道世	史	人		
			医療人底実践Ⅲ（データサイエンス）	8	鶴岡信治												兼任
			医療人底実践Ⅳ（他学科連携プログラム）	8	堀浩樹	浅田啓嗣	河尻純平										兼任
			多職種連携教育	多職種の基礎	15	吉子健一	森下芳孝	松浦佳苗	吉村智春	畠中泰彦	美和千尋	合田盛人	中西健二	鈴木聡	専任・兼任		
						神藏貴久	最明裕介	内藤道夫	八重徹司	中井三智子	中井桂司						
		事例で学ぶ多		15	川合真	吉子健	野口佑太	堀浩樹	野田孝	吉村智	伊藤卓	齊藤晋	奥山滋	兼任			

			職 種 連携		子 王桂鳳	一 久保田千景	内 藤 道夫	八 重 徹司	浩 蓑田さゆり	春 福田八寿絵	也 河尻純平	治 奥山滋樹	樹	
			実 践 で 学 ぶ 多 職 種 連 携	15	野 口 佑太	吉 子 健一	堀 浩樹	野 田 孝浩	吉 村 智春	伊 藤 卓也	齊 藤 晋治	奥 山 滋樹	王 桂 鳳	専 任・兼 任
					久 保 田千景	川 合 真子	内 藤 道夫	八 重 徹司	中 井 三智子	福 田 八寿絵	河 尻 純平	荒 井 信行	大 杉 領子	
					熊 取 厚志	多 田 智美	藤 原 芳朗	鈴 木 聡	富 田 泰成	山 田 康晴	山 下 幸司	平 井 一行	中 村 美起	
			慢 性 疼 痛 学 ぶ チ ャ ム 医 療 (基 礎)	15	鈴 木 聡	丸 山 淳子	山 口 太 美雄	畠 中 泰彦	丸 山 一男	大 井 一弥	伊 藤 薫	上 條 史絵	伊 藤 和寛	兼 任
					平 井 一行	藤 原 芳朗								
			慢 性 疼 痛 学 ぶ チ ャ ム 医 療 (実 践)	15	荒 井 信行	丸 山 淳子	高 木 久代	山 口 太 美雄	棚 橋 伸行	浅 田 啓嗣	丸 山 一男	三 輪 高市	伊 藤 薫	専 任・兼 任
					古 屋 かな恵	鈴 木 聡	谷 出 早 美	丸 山 幸恵	山 路 由実子	伊 藤 和寛	齋 藤 恒一	石 川 真太郎	上 條 史絵	

					平谷智生	長岡伸征	富田泰成	平井一行	牛場かおり	宮田瑠里子				
		医療人の教養と常識	医学医療最近の進歩	8	三浦英和	大井一弥	伊原正	米田操	界外忠之	笹井宣昌	丸山一男			兼任
			食と健康	8	三浦俊宏	奥田政行	吉村智春	大杉領子	大槻誠	村林新吾	古屋かな恵	中原さおり		兼任・非常勤
			医療における安全と安心	8	大無田孝夫	堀浩樹	山下剛範	榎屋友幸	倉田節子	西川祐策	蜂須賀大輔			兼任
			東洋医学と統合医療	8	山本晃久									兼任
			地域包括ケアと多職種連携	8	國分真佐代	藤原芳朗	三輪高市	伊藤卓也						兼任
			薬の役割・薬のき	8	原田均	田口博明	米田誠治	榎屋友幸	二村昭彦					兼任

[illegible]

			と病		原 玲 洋								勤
			国 際 理 解	8	堀 浩 樹	高 木 久 代	太 田 伸 生	王 桂 鳳	マイケル スキヤサ リン				兼任
			三 重 を 学 ぶ	8	若 杉 悠 佑	福 田 良 彦	伊 藤 彦 太 郎	代 田 美 里	津 村 善 博	中 村 麻 美	西 田 誠	幸 田 知 春	兼 任・ 非 常 勤
			ボ ラ ン テ ィ ア と 災 害 支 援	8	大 槻 誠	高 木 久 代	齋 藤 恒 一	福 岡 恵 子	森 尚 義	谷 出 早 由 美			兼任
			コ ミ ュ ニ ケ シ ョ ン の 大 切 さ	8	内 山 め ぐ み	多 田 え り か	中 津 友 里	服 部 し の ぶ					兼 任・ 非 常 勤
		健康科学	ス ポ ー ツ と 健 康	8	瀧 本 未 来								兼任
			ス ポ ー ツ	8	瀧 本								兼任

[illegible]

			ユニ ケー ションA		ケ ル ス キ ャ サ リ ン									
			英 語 コ ミ ュ ニ ケー ションB	15	マ イ ケ ル ス キ ャ サ リ ン									兼任
			中 国 語 I	15	康 鳳 麗									兼任
			中 国 語 II	15	康 鳳 麗									兼任
	科学的思考の基盤	自然科学への誘い(いざなひ)	環 境 科学	8	朴 恵 淑									非常勤
			地 球 科学・ 宇 宙 科学	8	高 橋 真 聡									非常勤
			科 学 と 社 会	8	若 林 成 知	鈴 木 宏 治	鶴 岡 信治	米 田 誠治	山 口 太 美 雄					兼任

自然科学の基礎	数 学 Ⅰ	15	桑 野 泰 宏								兼任
	数 学 Ⅱ	15	桑 野 泰 宏								兼任
	物 理 学Ⅰ	15	谷 口 公 一								兼任
	物 理 学Ⅱ	15	谷 口 公 一								兼任
	化 学 Ⅰ	15	若 林 成 知								兼任
	化 学 Ⅱ	15	若 林 成 知								兼任
	生 物 学Ⅰ	15	川 ノ 口 潤								兼任
	生 物 学Ⅱ	15	川 ノ 口 潤								兼任
	情 報 リテ ラシ ー	15	梶 山 純								兼任

専門基礎分野	専門基礎科目	解剖学	15	堤智斉								兼任
		応用解剖学	15	堤智斉								兼任
		解剖学実習	23	有馬寧	齋藤恒一	川ノ口潤	栞原健太	石川真太郎				専任・兼任
		生理学	15	岩崎泰正								専任
		応用生理学	15	丸山淳子								兼任
		生理学実習	15	野口佑太	山本泰雄							専任
		病理学概論	15	中井桂司								専任
		臨床心理学	15	大橋明								兼任
		発達学	15	多田智美	濱田匠							専任・兼任
		リハビリ	8	美和								専任

		テー ション 概 論		千 尋									
		リハ ビリー テー ション 医学	15	百 崎 良	加 藤 弘 明	畠中 泰彦	栗原 健太						兼 任・ 非常 勤
		内科 学総 論	15	中 井 桂 司									専任
		内科 学各 論	15	中 井 桂 司									専任
		整形 外科 学総 論	15	畠中 泰彦	萩智 仁	伊達 大雄	松山 優実	宮村 岳	栗原 健太	種村 祐紀	白瀬 統星	伊東 直也	兼 任・ 非常 勤
				山崎 弘喜	浅野 貴裕	内藤 陽平	小林 凱	西村 明展	長谷 川正 裕				
		整形 外科 学各 論	15	畠中 泰彦	萩智 仁	伊達 大雄	松山 優実	宮村 岳	栗原 健太	種村 祐紀	白瀬 統星	伊東 直也	兼 任・ 非常 勤
				山崎 弘喜	浅野 貴裕	内藤 陽平	小林 凱	西村 明展	長谷 川正 裕				

		ロボットリハビリテーション演習	8	野口 佑太								専任
		救急医学概論	8	今井 寛								非常勤
		画像評価学	8	藤井 啓介	濱田 匠							専任
		臨床栄養学	8	大杉 領子								兼任
		薬理学	15	西田 圭吾	古川 絢子							兼任
専門分野	基礎作業療法学	運動学	8	島崎 博也	石川 真太郎							専任
		運動学実習	15	島崎 博也	石川 真太郎							専任
		作業療法概論	8	美和 千								専任

[illegible]

[illegible]

		発達障害作業治療学実習	15	濱田匠									専任
		老年障害作業治療学	8	島崎博也									専任
		老年障害作業治療学実習	15	山本泰雄	島崎博也	伊藤卓也							専任・兼任
		日常生活活動支援学	8	藤井啓介									専任
		日常生活活動支援学実習	15	藤井啓介	島崎博也								専任
		高次脳機能障害作業治療学	8	野口佑太									専任
		高次脳機能	8	野口	藤井								専任

		能 障 害 作 業 治 療 学 実習		佑 太	啓 介								
		義 肢 装 具 作 業 療 法 学	8	石 川 真 太 郎									専任
		義 肢 装 具 作 業 療 法 学 実 習	15	石 川 真 太 郎									専任
		職 業 関 連 作 業 療 法 学	8	濱 田 匠									専任
		ハ ン ド セ ラ ピ ー 学	8	石 川 真 太 郎									専任
		感 覚 統 合 療 法 学	8	濱 田 匠									専任
		急 性 期 作 業 療 法 学	8	美 和 千 尋	石 川 真 太 郎								専任

		総合演習	8	美和千尋	島崎博也	山本泰雄	濱田匠	野口佑太	藤井啓介	石川真太郎			専任
	作業療法管理学	職業倫理学	8	美和千尋									専任
		職場管理学	8	山本泰雄									専任
	地域作業療法学	地域作業療法学	8	島崎博也									専任
		地域作業療法学実習	15	藤井啓介	島崎博也								専任
		生活環境論	8	山本泰雄									専任
		訪問作業療法学	8	島崎博也									専任
	臨床実習	臨床実習Ⅰ	90	島崎博也	美和千尋	山本泰雄	濱田匠	野口佑太	藤井啓介	石川真太郎			専任
		臨床	225	島	美	山本	濱田	野	藤	石			専任

		実 習 Ⅱ		崎 博 也	和 千 尋	泰 雄	匠	口 佑 太	井 啓 介	川 真 太 郎			
		臨 床 実 習 Ⅲ	405	島 崎 博 也	美 和 千 尋	山 本 泰雄	濱 田 匠	野 口 佑 太	藤 井 啓 介	石 川 真 太 郎			専任
		臨 床 実 習 Ⅳ	405	島 崎 博 也	美 和 千 尋	山 本 泰雄	濱 田 匠	野 口 佑 太	藤 井 啓 介	石 川 真 太 郎			専任
	卒業研究	卒 業 研究	15	美 和 千 尋	島 崎 博 也	山 本 泰雄	濱 田 匠	野 口 佑 太	藤 井 啓 介	石 川 真 太 郎			専任

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
○	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
臨床実習Ⅰ 見学実習および通所リハビリテーションの見学	2年後期	リハビリテーション概論	1年後期
		リハビリテーション医学	
		整形外科学総論	2年前期
		神経内科学総論	
		運動療法学総論	
		地域作業療法学	2年後期
臨床実習Ⅱ 臨床実習指導者の指導・監視の下、様々な疾患・状態の対象者に対して学内で学んだ技術を用いて検査・測定等を実施し、作業療法の評価についてまとめ、問題点の抽出、目標の設定および治療プログラムの立案までを作成する。	3年後期	検査測定実習	2年後期
		身体障害評価学	2年前期
		精神障害評価学	2年後期
		発達障害評価学	3年前期
		老年期障害評価学	3年前期
臨床実習Ⅲ、Ⅳ 臨床実習Ⅱの内容に加えて、さらに、目標や治療プログラムをもとに治療	4年前期	身体障害作業治療学Ⅰ	2年前期
		身体障害作業治療学Ⅰ実習	3年前期
		身体障害作業治療学Ⅱ	3年前期

を実施して治療課程を把握し、再評価を学ぶ。	身体障害作業治療学Ⅱ実習	3年前期
	精神障害作業治療学	3年前期
	精神障害作業治療学実習	3年後期
	発達障害作業治療学	2年後期
	発達障害作業治療学実習	3年前期
	老年期障害作業治療学	3年前期
	老年期障害作業治療学実習	3年前期
	急性期作業療法学	3年後期
	日常生活活動支援学	2年後期
	日常生活活動支援学実習	3年前期
	職業関連作業療法学	2年前期
	義肢装具作業療法学	2年前期
	義肢装具作業療法学実習	3年後期

【自己評価 3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	鈴鹿医療科学大学自己点検・評価委員会
委員名（委員長）	学長
組織の開催頻度	年2回
組織の取り組み内容	・自己点検・評価の実施項目、実施内容及び実施に関すること
	・中期計画及び活動計画の策定等に関すること
	・自己点検・評価の実施及びその結果の公表に関すること
	・自己点検・評価の結果に基づく改善策に関すること
	・その他自己点検・評価に関して必要な事項に関すること
自己点検・評価結果の公表	HPで公表 (URL : https://www.suzuka-u.ac.jp/guide/public/jikohyoka)

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	教育の質保証委員会
	委員構成等	学科長もしくは専攻長（委員長）、教務担当委員、資格試験担当委員、FD推進委員、IR担当委員、LMS担当委員、その他委員長が必要と認めたもの

	改善の仕組みの実際	・年に10回以上開催している。 (1) 学科の4つのポリシーの確認 学科の「4つのポリシー」が、本学の「使命・目的」「建学の精神」「教育の理念」「教育目標」及び全学の「4つのポリシー」に沿ったものになっているかについて確認し、必要な修正を行う。 (2) 教育内容・成績評価の確認 教育内容や科目設定が、学科の教育方針に沿い、国家試験をはじめ資格試験に対応しているか、科目担当者、時間数、開講時期と順序などが適切か、また、GPAを基にして科目間の成績評価基準の平準化が適切になされているかを確認し、必要な修正を行う。 (3) シラバスと授業実施状況の管理と徹底 各科目のシラバスが、学科の専門教育方針を満たすものになっているか(シラバスチェック)、またシラバスチェックがきちんとできているか、授業はシラバス通り行われているか、について確認する。また、学生による授業評価結果が授業改善に反映し、生かされているかを検証する。
--	-----------	--

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

- ・本学では自己点検・評価を毎年実施しており、学習環境の整備に努めている。
- ・令和5(2023)年3月14日付けで、「公益財団法人日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定された。認定期間は2022(令和4)年4月1日から2029(令和11)年3月31日までの7年間である。
- ・一般社団法人リハビリテーション教育評価機構による教育評価を受け、リハビリテーション教育に必要な施設基準およびカリキュラムを提供、実施できる養成施設と認められている。認定期間は、2023年4月1日から2028年3月31日までの5年間である。